

6月7日 広報課報道係発行(内)2121

# 今日のニュース

読 売 18.6. - 7

## 把瑠都が活躍 — 躍脚光

大相撲白鰻所で、新入  
將ながら破竹の勢いで敗麗  
賞を受賞した把瑠都(21)  
の出身国エストニアの風景  
を紹介する写真展が、江戸  
川区のタワーホール船堀  
(船堀4)で開かれている。  
7月に同ホールで開催される  
民族舞劇団「ソラス」公演  
の事前イベント。撮影者  
の高橋忠志さん30は「自  
然も街並みも非常に美しい  
国。魅力を知ってほしい」  
と話している。



美しい街並みや人々の日常を写した作品(江戸川区のタワーホール船堀で)

# エストニア 活写120点

江戸川の高橋さん初個展 あすまで

把瑠都間は本名カイト・  
ホベルソンで、エストニ  
ア・ラクベレの出身。  
バルト3国の一帯北側に  
位置するエストニアは、九  
州ほどの面積で人口約14  
0万人。1500以上の島  
と1000以上の湖があ  
る。ソ連崩壊後に独立し  
2004年にEUに加盟し  
た。

首都タリンは、城壁や聖  
堂など中世の建築物がその  
まま多数残っており、旧市  
街すべてがユネスコの世界  
遺産として登録されてい  
る。

写真展「エストニアの感  
動」は、舞台写真が専門で、  
江戸川区在住の高橋さんの  
初個展となる。高橋さんが  
舞劇団の取材のために4月  
にエストニアを訪れた際に  
撮影した約120点を紹

介  
笑顔で踊る舞劇団のけい  
こ風情のほか、外気の冷た  
さや船を赤く染める親子連  
れ、国会議事堂やタリンの  
城壁、穏やかな農村やバル  
ト海の海岸風景などが並  
ぶ。

高橋さんは「素晴らしい  
景色が多すぎて、夢中  
になってシャッターを切  
った」と話す。エストニ  
アはいま、海や川の水が  
解けたで、いる季節だとい  
う。高橋さんは「写真展  
を見て興味を持ってもらえ  
たら、ぜひ現地を訪れてみ  
てほしい」と呼びかけてい  
る。

写真展は入場無料。8日  
まで。会場にはエストニア  
の民族衣装や工芸品が展示  
されており、エストニアの  
観光パンフレットも配布し  
ている。

7月6日に同ホールで公  
演を行う舞劇団「ソラス」  
は今回が初来日。全国ツ  
アーの最初の公演が江戸川  
区となる。人々の日々の生  
活から生まれた村祭りやタ  
ランス、男たちの力比べのタ  
ンスなどが披露される予  
定。公演は午後、時間変更で  
前売券3300円、当日3  
800円。  
問い合わせは国際芸術家  
センター(☎542602  
047)へ。